

8月30日(土) 一般入試説明会実施

高校の理科数学等の先進的な授業を進め、教育振興または科学・技術の次代を担う将来有為な人材を育てるプログラムが進行中です。まさに国家事業プロジェクトとして研究開発の真っ只中にあるスーパーサイエンスハイスクール(SSSH)構想ですが、京都からは、国立の京都教育大学附属高校をはじめ、立命館高校・堀川高校が認定を受け日々研究中です。

本校は6月21日(土)午後から京都教育大学講義室において附属京都・桃山両中学校の3年生を対象に、連絡進学入試の説明会を実施いたしました。SSH(本校の場合は自然科学コース)についての全体説明の後、ブースを作り、この1年の活動や展示・質問会を実施し、盛況を得ました。続いて、8月30日(土)には、本校メディアセンターの多目的ホールにて、一般中学校の3年生・保護者対象の説明会を実施いたします。

まだこの知らせをお聞きになつてなく説明会参加を希望する方は、**8月26日(火)まで**に、学校名・氏名を記入の上、FAXまたはe-mailで申し込んでください。所定の申し込み用紙は各中学校に配布しております。個人で申し込まれる方は是非中学校の先生にも連絡を忘れないでください。現在の参加状況は午後の部の定員を越えたので、午前10時からの部に申し込んで頂くようよろしくお願い致します。

本校ホームページアドレス
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/FUZOKU/KOUKOU/index/HOMEPAGE.htm>
スーパーサイエンスハイスクール(自然科学コース)関連 本校HPからアクセス
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/FUZOKU/KOUKOU/index/sshp/topgamen/top.htm>
附属高校全般に関するお問い合わせメールは
kfkou1@kyokyo-u.ac.jp
また、スーパーサイエンスハイスクールに関しては
kfkou4@kyokyo-u.ac.jp

第1学年の場合

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
国語総合	世界史B	現代社会	数学I	数学A	理科総合B	体育	保健	英語I	英語II	音楽I	音楽II	美術I	美術II	家庭	職業	総合	特別																	

第2学年の場合

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
現代文	古典	体育	保健	英語II	ライティング	ライティング	数学II	数学II	物理I	物理I	化学I	化学I	生物I	生物I	地学I	地学I	音楽II	音楽II	美術II	美術II	家庭	職業	総合	特別										

第3学年の場合

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
現代文	古典	体育	保健	英語II	ライティング	ライティング	数学III	数学III	物理II	物理II	化学II	化学II	生物II	生物II	地学II	地学II	音楽III	音楽III	美術III	美術III	家庭	職業	総合	特別										

左の表を見て下さい。上段は、普通コースの理系の場合で下段が**スーパーサイエンスハイスクール**の**カリキュラム**です。
 特徴は、明らかに**単位数が増えています**。以前から理科では興味・関心を大切にするために実験やものづくりに重点を置いていました。SSHでは、さらに、手厚い指導を心掛けています。数学は、理科の授業と先端技術への実用性の橋渡しとして数学の特性である「論理的思考」を植え付けることを目指しています。いずれも進路指導の一つとしての志望大学合格への対応も欠かせないと考え、受験指導を行っております。1年生では、応用数学・科学技術を新設置科目として位置づけられています。さらに、第2学年では、物理・化学・生物の名称をそれぞれエネルギー科学、物質科学、生命科学としています。

名の下にカリキュラムを作り、シラバスも出来上がっています。(1・2期生は順調に進んでいます。)数学は以前と違い、単元間のつながりを重視し解析学、代数学、幾何学、統計学という視点からより高度な数学へと導きます。我々は、これからの科学者は理科・数学の教養や確かな学力を身につけるために、「情報力」情報を使いこなすこと、「国際性」英語コミュニケーション力、「倫理性」科学の歴史観や倫理観の育成」の柱を考えています。

大学受験一辺倒に走り過ぎて大学合格が全ての人生と考えると、入学達成後に虚脱感を持った無気力な若者がかなり増えてきているという大学側・企業側からの警鐘を聞いております。受験のテクニックは素晴らしいものを持っていますが、学問的な素養や独創的な探求心に欠けてきているということなのです。やや革新的なカリキュラムの中で、できるだけ数学・理科以外にも工夫をし、組み替えた内容となつていきます。(カリキュラム表参照) 加えて情報Bによって各教科に情報科目を反映させる取り組みを考えています。各科目の様子などは紙面で書き尽くせないものばかりです。本校のHPを見て、イメージをつかんでください。

授業から
 2年生で、代数幾何を学びますが、数学Bの「空間のベクトル」においては、空間座標と媒介変数表示しか学びません。以前使用していた教科書の中から平面の方程式、空間の直線の方程式、球面の方程式を学習した上で、直線と平面の関係や平面と球面の関係などを扱います。

将来色々な事物を多面的に捉えたりする研究にはこの「空間把握」は非常に大切な要素です。残念ですが、新教科書では空間のベクトルでさえも削除されています。ましてや最も植え付けて学習すべき大切な小学校の時期にも大きな削減がなされていて、私達は危機感を持って高校生に取り入れ指導しているのです。(受験に必要ないじゃないか!という目先の指導ではないということです。)



簡単な3Dアートを作るという授業の1シーンです。日常で使われている数学を見直そうという試みです。
 見る角度を変えると浮き上がる3Dシートの絵を数学でどう説明がつくのかを理解してオリジナル作品を考えます。活動を取り入れた授業構成です。



取ろうと飲もうと手が出そう!

充実した進路保障体制へ

現在、附属高校では、補習体制がしっかりしております。各自の進路に合わせて対応しております。今年度実施されているものあるいは昨年度実施されたものを挙げますと、国語・数学・英語・地歴の0限進学補習、土曜日午前中補習、地歴・理科の放課後補習が平常補習として実施され、夏期補習(7月下旬～8月上旬)冬期補習(12月下旬)春期補習(3月下旬～4月上旬)が各教科で実施されております。確かな学力を授業でつけ、さらに進学に対応した補習を**普通コース**にも設置し、進路実現に向け取り組んでおります。

クラブ活動でも、昨年男子バレーボール部は、近畿大会に出場しています。附属高校の生徒は勉学のみならず、学校での活動に多くの投資をします。情熱を注ぎ、何事にも後悔しないように前向きに取り組む文武両道の校風が存在します。1つの考えに偏らず、**バランス感覚**を持っていると言えます。そういつた生徒達が逆に進路での栄冠を勝ち取っているのも事実であり、素晴らしい伝統があるとも言えます。正に、**集団活動等で培われた精神が、現代社会に出た時にリーダーとして発揮・活躍**されていく。

高校生活でどんな欲に多くのことを吸収し、自分の力として身につけていく「附高生」の姿には、頼もしささえも感じます。
 「勉強以外に何もなくていい」のではなく、高い志を持った中学生諸君の入学を期待したいのです。

多くの地元企業の財界人や大学の研究職として御活躍中の卒業生の方も!
私達を応援してくれています。

全国はもろろん京都の代表的な企業経営にも多くの卒業生の方が携わっておられ、御活躍中です。附属高校に対しての熱い眼差しで応援して頂いております。(京都大学の教授だけでも何と20名も)

これまでの主な行事から

新入生オリエンテーション

4月10日(木) 1:20~5:00
 於 京都教育大学
 本理学科及び産業技術科の研究室
 訪問と講演・実習体験
 本学数学科の講演授業



プラズマ実験から電子顕微鏡観察まで科学の面白さを本学教授陣が解説!

科学技術講演会

5月8日(木) 1:30~3:00
 於 近畿地方発明センター
 「レーダー」による地球大気環境のリモートセンシング
 京都大学宇宙電波科学センター教授
 工学博士 深尾 昌一郎 先生



92回を数える伝統行事。ベチャの街「京都」に根ざした催しですが、高校生にもできるだけ分かりやすい説明をして頂きました。

臨海実習

A 団 7/28(月)~7/30(水)
 B 団 7/30(水)~8/1(金)

けいはんなDEサイエンス

主催 京都府企画環境部文化学術
 研究都市推進室
 協賛 京都工業会 他
 8月10日(日) 1:00~4:00
 地域の子供達が科学実験や工作に積極的に参加し科学の楽しさを味わうイベントです。自治体(京都府)・大学(同志社大)・企業(関西電力・大阪ガス)・研究所に加え

「けいはんなDEサイエンスの生徒スタッフ感想」： けいはんなに参加してほんとに楽しかったし、いい経験になりました。子供たちに説明しているときよくい付きがよくて、何事にも興味しんしんで、「こういう風に純粋な気持ちで何事にも関わっていかないと」と改めて感じました。またこういう機会があれば参加していきたいと思ひます。 藤林えみ

国立・私立の中学校・高校の数学・理科の先生が主体となって、教室を開放します。また、高校生のボランティアの存在が大きく附属高校の生徒の活躍が目立ちました。(参加者なんと1000人)

7th 琵琶湖クルーズ
 ソーラーボート大会2003

後援 文部科学省・科学技術振興事業団 他
 8月23日(土) 10:00~

今年、本校の3名が先端技術部門のGPS制御プログラムに携わるスタッフとして出場します。滋賀大学や立命館大学の学生の中に混じりながらチームに入れてもらえることとなりました。マキノ町サイニビーチを出発して竹生島の北端を反時計回りに周回して戻ってくる約20kmを、GPS(例 カイナビゲーション)による自立操縦で競技します。結果はいかに!

数楽飯面(某高校先生)

腕力発電器

卒業生も在校生も 世界に躍進する「ふぞく」

「宇宙」への想いを捨てきれず
 今年、スペースシャトルコロロンビア号が不慮の事故に遭いました。船室の「めだか生育対照実験」をしていた生徒達も強い衝撃をうけおりましたが、強い志を持った生徒が難関をり越え、米国テキサス大学アーリントン校に合格しました。

8月10日毎日新聞

私は宇宙開発に興味があり、将来は宇宙船の開発に携わりたいと思っています。もともと、宇宙に興味がありましたが、中学のときNASAの見学をしたことがその一番のきっかけです。その時、宇宙開発のスケールの大きさに衝撃を受け、何か宇宙開発に参加したい!と思いました。

宇宙では理工学や医学など幅広い分野で、将来私たちの生活に影響を与える多くの発見が予想されます。そして宇宙船が安全で経費が安く性能の良いものになればなるほど宇宙での研究は進みます。早く宇宙の未知の部分を知りたくて、だんだん、宇宙開発の中でも、研究を支える宇宙船の開発をしたいと思うようになりました。

そしてその第一歩として、来年九月からアメリカの大学で航空宇宙工学を学ぶことになりました。そこでは間近で最先端の研究が行われており、設備・環境・内容など、とてもよい条件で勉強できそうで楽しみです。宇宙開発への貢献の夢に向けて、充実した大学生活を送れるようベストを尽くそうと思います。 葉師川 聡子

私は今回、生の数理科学に触れられるということで「数理の翼」夏季セミナーに応募しました。セミナーでは7日間ハワイに滞在して、科学の最先端で活躍されている研究者の方々の講義を受け、直接指導もして頂けるそうです。私は将来、科学者になりたいと思っていますので、このセミナーを「自分はどの分野に本当に興味があるのか」を探る機会にできればと考えています。また、他の参加者とも仲良くなりたいです。講義以外にもスバル天文台やキラウエア火山の見学などがあり、とても楽しみです。わからない事がたくさんあると思いますが、少しでも何かを学び取り貴重な経験にしたいと思っています。 志達 めぐみ

NPO法人「数理の翼」 in ハワイ

3年前は京都大学合格を蹴って留学した生徒もいました。



NHK「課外授業ようこそ先輩」スペシャル

「17歳、戦争を学ぶ、命を考える」
 夏特集50分拡大版
 貫戸朋子(国境なき医師団)
 放送時間 総合テレビ8月3日(日)
 10:05~10:59.30

春先から長期間に渡って本校で取材撮影がありました。実は、5年前に附属京都小学校での授業が収録され、今回は17歳になった現在の彼らにもう一度語り、戦争に対する認識を再考してもらおうというシナリオになっています。もちろん貫戸さんは、附属小・中・高の卒業生です。ナレーションが歌手のあの世良公則さんでした。

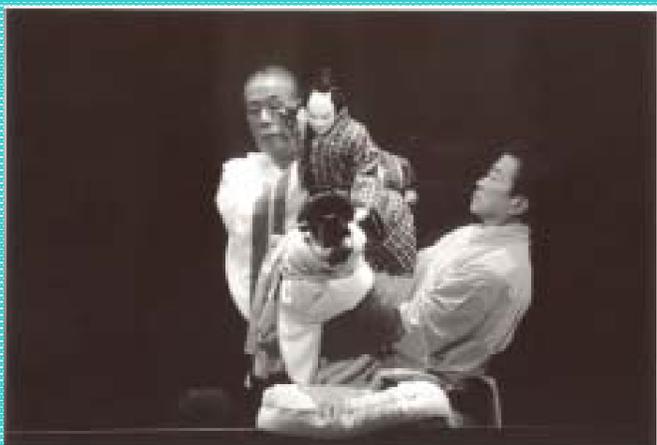


「文化」も 教養

「京都賞」の一面から!

京都賞は、人類の科学、文明の発展、また精神的な深化、高揚の面で著しく貢献した人々の功績を讃え贈られる国際賞です。毎年、先端技術部門、基礎科学部門、思想芸術部門から選出されますが、今年度は「日本を代表する古典演劇文楽」の形遣いの第一人者」の吉田玉男師匠さんが受賞されました。実は、附属高校には、「文楽」を研究されている大変熱心な国語科の先生がおられます。バランス感覚を持った教養ある若者になって欲しい想いから、メッセージをお願いしたいです。感謝!感謝! ココカラ

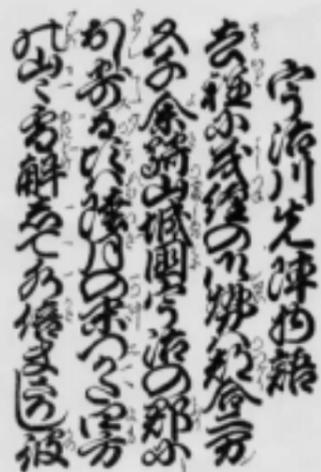
吉田玉男師匠は文楽の人形遣いとして現役最高峰に位置する方。人形浄瑠璃文楽とは、太夫の語り、三味線の演奏、三人遣いの人形、の三位一体によって演じられる総合舞台芸術です。今から三百年前に初演された、曾根崎心中。(近松門左衛門作)の主人公徳兵衛は、玉男師匠の持ち役の一つ。昭和三十年の復活上演以来、なんと一千回以上も遣うという、前人未踏の大記録を樹立されました。この、曾根崎心中はパリを始めとする海外公演でも演じられ、十数回ものカーテンコールで絶賛の嵐だったとか。古典芸能の魅力が十分にアピールされているのです。



提供：国立文楽劇場

そういえば、ノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんは、日本語独自の伝統的な発想「もったいない」から大発見が生まれた、と講演されていましたね。日本初のノーベル賞受賞者湯川秀樹博士も義太夫浄瑠璃を習っておられました。伝統的な文化・芸術の根底にあるものが、欧米の学者にはない発想や発見を生み出す潜在能力と深く関わっているのかもしれない。

今一年生が使っている古典の教科書に、「平家物語」の「宇治川先陣」が載っています。それが五百年後の「ひらかな盛衰記」という浄瑠璃では、「先陣問答」の段という形で受容され再構築されます。そして三百年後の現在、私たちはそれをライヴで鑑賞することができるのです。伝統や美意識、そこにある無限の知恵、それらを未来につなげるために、共に学んでみませんか。



人形浄瑠璃文楽座の専務理事豊竹小松大夫師匠から、みなさんへメッセージをいただきました。

「日本の伝統芸能である文楽人形浄瑠璃を、ぜひ学生生活の内必ず鑑賞して下さい。今年には世界遺産に登録されます文楽を、この機会に観覧して下さい。下さる事を望んでおります。」

(文楽分野の文責) 多田 英俊